

前回参加して

医療 [・情報収集、交換が難しい。・CMとの繋がりが薄い。・医療対して敷居が高い。・Dr.担会の参加少。
・工夫して、繋がる。(情報発信の方法等、FAX等)。
※受け取ったケアプランはどうする? →必要な情報で対応する。
患者の責任は医師。変わった時の送付は必要

医療 ・顔見てカンファ、多職種ではむずかしい。→自分から情報発信。 ・予防事業への参加

CM [・作業、仕事の違い。 ・仕事(ミッション)をしたい。 ・顔の見える関係 ・ケアプランの公布。情報提供。
・地域の集まり。情報収集。繋がりを持つ。
※繋がりは集まりへ出かける。 ・開業医として、在宅が増える中で往診は介護との繋がりが。
連携プレーは必要。介→医へのアプローチは情報発信。

CM [・地域ケア会議参加。Drの参加は必要。意見が聞ける。 ・多職一退院前カンファでかかわる。
・介護教室の実施(半年後)

介護 ・情報はノートでFaやCMへ。細かく連絡。 ・利用者の顔色等でわかるように。

行政 ・地域へ情報発信 ・介護予防教室 ・訪問エリアマップ

	明日から	半年後
医療職	口腔ケアに歯科医／衛生士さんをまきこんでいく。	歯科に関する情報をできるだけ聞き取れるようなアセスメント表ができるとよい
介護職	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントに歯科・口腔に関するアプローチを考えたい ・施設 義歯の確認 食形態の確認と評価 ・色々な場所で名札をくばり輪をつなげる ・医療職と介護職との連携をとれたらよいかな？ ・ケアマネージャーさんとの共通がほしい ・歯科に関する応対 口腔ケア ・口腔内に関心を持ってもらえるよう機会ある毎にアプローチしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設同士の共有 ケアマネージャーと一緒に ・自分のプランに栄養マネジメントできるスキル身につける。
行政 (その他)		<ul style="list-style-type: none"> ・病院や施設での地域での活動を地域へ広報できるようにする。 ・歯科に関する勉強会を企画してほしい

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科連携がうまくいっていない。歯科からのアピールを退院後にフォローしますと伝える。 ・担当者会議、退院カンファレンスに参加できるようになる。 	<p>コミュニティ衛生士のポジションを確立することで、サービスの不足をカバーする。</p>
介護職	<p>病院に足を運んで顔の見える関係づくりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が病院の窓口とケアマネ、包括と交流の場を企画することで、入院施設のある医療機関の MSW、退院調整ナースと連携し、顔の見える関係作りが出来る。
行政 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括から、各病院に足を運び、MSW、現ナースと顔の見える関係づくりをする。 ・市から、各種会議(地域ケア会議等)の情報を歯科医院に伝える。 	<p>上に同じ</p>

4班

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none">・多職種連携ケア会議を開く・意見交換会、ケア会議を開く・Drとの連携、メールリストを作る	<ul style="list-style-type: none">・入院する際の退院プランを考えて助言・診療情報を遅滞なく送る・医療レスパイトベットを作る・医療窓口を一本化
介護職	<ul style="list-style-type: none">・どの様なつながりが求められているか把握する(ケア会議の継続的参加)・介護、PT、STとのリハ連携を充実させる・介護区分変更が必要になったら遅滞なく行う・訪問栄養指導を計画	<ul style="list-style-type: none">・介護職のネットワークを構築・連携ノート、共通のものを拡げる・石川Drの講演→つながりを深めるため
行政 (その他)	<ul style="list-style-type: none">・地域にどんなサービスがあるか発掘する・ケア会議を住民が入ってもらえる内容にする・連携ノートを活用する・レスパイト、あいてるベットを公開するシステムを作る・問題事例を事例検討会に出すシステムを作る	<ul style="list-style-type: none">・ケアカンファレンスの症例集を作る・iPadを導入する。パスワードを介護用につくば市で設定・連携ノート、お薬手帳をコンバインする・アプリを広める準備をする・医療に関する、生活に関するもの、地域特有のもののサービスをまとめる。・ケア会議→地域問題をとらえる場 →解決し住民に示せるものにする・空いているベッドの情報を公開するシステムを作る

・退院や入院の多職種間の連絡

- 入院中、経過は随時伝えている。在宅や老健により連携の仕方は違う
 - ・在宅の医療の場合は連携とりやすいが・・・。
 - ・ハブ役が重要になる。(ケアマネやMSW等)
 - ・月2回特養の口腔ケアは行っているが、ケアワーカーにも手伝ってもらいたい
(ケアワーカーに重要性を伝えたいが・・・忙しいのでみてもらえていない)
→歯科医との連携はあまりとれていない<できなかつたこと>
- かかりつけ歯科(口腔ケア)していたが、入院すると出来ない。もやもや感がある
入院すると主治医の指示がないとダメ
情報共有できるアプリがあることを知ったが、使えなかつた<できなかつたこと>
圏域ケア会議(困難事例等)で活用できた。参加している
連携づくりに活用できている

<明日からできること>

- ・実際に顔をあわせる機会に参加する
- ・事例検討会に参加する
- ・メール等の媒体を使ってみる(電話だけでなく)
- ・連携会議に参加しやすい時間、日にちを調整

<半年後>

- ・自分の職種の存在をPRする。

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none">・高齢者が入院したら、介護サービスの利用状態を選択して、CMに連絡をする・外来受診時、入院時、カンファレンス時に主治医に会うチャンス	
介護職	<ul style="list-style-type: none">・入院する方の歯科データの情報提供をもっと積極的に。・連携ノートが必要。(事業所・医療・ご家族含めた)つくば市のノートをもっと広める。・このような意見交換会に参加する。・利用者さんが入院したらHPのSwerやDrに連絡をとり、関わっていることを伝える。	
行政 (その他)	<ul style="list-style-type: none">・見守りをしてくれる地域資源ガススタンド(毎日届けられるもの)・医療、介護福祉以外の人とのつながり 新聞・ガス・郵便	<ul style="list-style-type: none">・保険証の裏に居宅とケアマネの名前を書けるようにしてほしい。・民生委員さんとのつながりが欲しい。名簿とかも。

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none"> ・映画ピアの上映会の予定 ・多職種連携カフェの定期的開催 ・ETC協会 勉強会のつくば市内開催 <p>みんなで参加しよう！！</p> <p>↑</p> <p>本当の自分</p>	<p>学校 「命」を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方々との交流 ・地域住民の方々との交流退院後訪問など主治医と一緒に在宅訪問をする ・ヘルパーさん向けの勉強会 <p>↑</p> <p>訪問介護</p> <p>↑</p> <p>企画 OK！</p>
介護職	<ul style="list-style-type: none"> ・区会へ参加 地域の一員として ・Hack myつくばへ参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの専門職団体の設立
行政 その他	みなさんと仲良くなる	<p>認知症の方 介護者を助けたい</p> <p>多職種で介護者も支援する</p>

できたこと

- ・民生委員の方々との交流 荃崎 ←他の人たちも連携をしたい
- ・歯科口腔ケアの大切さアピール
- ・訪問看護師さん向けの薬の勉強会 ←ケアマネも勉強したい
- ・多職種に相談して意見をもらうことができています
- ・生活支援・・・地域の人をつなぐくれた
- ・ケアマネ会としての連携 平準化へ向けた企画
- ・病院内だけでなく在宅訪問など継続者数の実践ができた
- ・ケアマネさん等にカンファへの参加担当者会議の開催を伝えた
- ・生活支援・・・事業で地域の人にサービスを伝えられた 介護医療連携

生活支援体制整備事業は
多職種連携ができる

装具にQRコードを付けて在宅で問題が起きても情報がわかるようにするシステム→すでに始まっている



義歯にQRコードがあると便利

上記があることで

- ①医療機関でも身元不明者の発見のヒントになる。
- ②Ns、リハ、CM、介護職→変化に気づいたらQR先に連絡。
- ③行政でシステムの管理もしたい。
- ④それに伴う障害要因、個人情報の問題について検討必要
- ⑤意見交換会や勉強会に参加する。
→職場の同職種・多職種に広めていく。

<明日から>

口腔ケアの重要性。 PRなどの情報の提供

ユーザーさん、実際に使う方などに情報を提供するために、CMの連絡会などに積極的に参加して、PRをしながら進めていく。

介護職の方も、PRすることによって、知識を得ることができるので、介護職の方がそのユーザーさんに情報提供をすることができる。

<半年後>

CM会議等に積極的に参加しながら、お互い同じ業種の方と顔なじみになって、その方に相談に乗ってもらおう。相談役の方から、色んな人を紹介してもらいながら、その輪を広げていくことができるのではないかな。

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に参加してつながりたい ・Dr.もケア会議、研修会に来ていただくことで顔がつながりたい。相談しやすい。 ・連携タイムを活用したい(時間通りに動けない・・・) 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの窓口の統一化をしたい(DrとTELつながらない) ・ENT支援の担当者会議を拡大したい
介護職	<ul style="list-style-type: none"> ・CMとしてDrとつながりをもちたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の主治医意見書を書きやすくするための情報をDrに伝えたい ・福祉用具の勉強会をHPで実施したい。
行政 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具の営業をいろいろなところをしたい 	

前回から取り組めたこと

- ・半年間で初めて介護職、H30～インフォーマルサービスの導入(制度の位置づけ)や、Drと顔を合わせる機会が多くなった。
- ・ENT調整カンファ、サ担に呼んでほしいと言ったが、特に何もしていない。


促進要因

- ・医療系サービス(訪看、訪リハ)を行う時、Drにプランを見せている。 ←制度改正によりできたこと
 プランの変更の必要性をチェックしてもらっている。
- ・上野Drが近くにいた、そこでつながった人とコミュニティができてつながれた
- ・居宅療養指導をCMに出すことが必須となった。
 初回にCMが同行訪問してくれることがよい、情報共有しやすい。Faにも安心ができる。

阻害要因

- ・Drは怖い。・Drとつながりにくい(CMが、大きなHPのDrとつながりにくい)

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師のできることの発信 ・ポリファーマシー(薬の多用) ・残薬管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費削減 ジェネリック推進 ・多職種交流会
介護職	<ul style="list-style-type: none"> ・状況の分析 <li style="text-align: center;">↓ <li style="text-align: center;">気づく力 ↑ <li style="text-align: center;">↓ 伝える つなげる 	<p>個別ケースを通して次の ケースでもつながるように</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャー質の向上がんばる！ ・困ったときに相談できるツール SNSとか
行政 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門職の機能を知る ・医療機関ともっとよく連携したい ・関係職とのマメな連絡 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種ができることをアピール ・住民へ向けての啓もう 	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に相談できるようになる ・地域包括頑張る！
	<p>地域包括の役割</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族力 	

	明日から	半年後		
医療職	・1人1人の背景を共有してサービスを提供 ・おくすりの処方方の在り方の見直すきっかけ		退院支援ガイドライン	がんばれMSW
			医療ケアの変化への対応	リアルタイムな状況を共有
介護職	LINE WORKS メディカルケアステーション 共有が見える町			
				↓ ケアプランの 適正化
	アセスメントへのフォロー追加情報			事業所の空き状況を リアルタイムにみられる システム
			リアルな現場の声を伝える方法は？	
行政 (その他)	情報共有のしくみをサポート ALL福祉での連携を庁内で目指す	適正な利用を 理解してもらう	制度へのアクセルの しやすさ、わかりやすさ	福祉コンシェルジュ 相談のワンストップ
				<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">目標</div>

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師 現場を見る。 ・薬局 連携の取り方がわからない。 ・PTつくば支部ができた。市内で連携がとりやすいしくみになった。 ・県南退院調整看護師会 他の会と勉強会をしている。 ・薬剤師のできることをアピールする ・顔の見える関係づくり ・他の職種を尊重することから連携が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の職種と連携がとれている。 ・理学療法士として市民に向けた活動をする ・出会いの場を作る
介護職	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣のデイ管理者に声をかけて集っている。 →CMもきてくれるように。 ・今あるグループ同士がつながっていく ・同じ媒体を使ってグループを作る。既読スルーでもOK ・わかりやすいサマリーを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市でデイサービス連絡会を作る。
行政 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の集まりがわからない。 →参加したい。 ・口にしなければ形にならない。 ・包括の役割が見えにくい ・包括に何を相談していいかわからない ・地域への情報発信をする ・何から手を付けていいかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括でできることが可視化できるようにする。 ・支援困難者への対応についてみんながわかるルールを作る。 ・各職種と行政との協働ができる。

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none"> ・CMと要支1、2の人を支える体制づくり ・包括として広報活動すること （民生委員などの集まりに参加する） ・独居の方に対して通所のリハにつなげるよう介護保険申請につなげる。 ・同業者同士関わりを持ちスキルを高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りながら早めに支援が必要な人を見つける体制づくり
介護職	<ul style="list-style-type: none"> ・CMとDr.との連携 ・CMと連携して本人に合う事業所につなげる ・事業所PRの場を設けてお互いのPRポイントを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所についてサイトで探せると使いやすそう
行政 (その他)	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や見守りネットワークとつながり、地域で見守り必要な人を見つける ・多職種につながれる場や機会をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯やパトロールの方々に見守り必要な人をサポートする ・事業所一覧表に、PRポイントを加える ・コミュニティ棟で飲み会を企画

	明日から	半年後
医療職	<ul style="list-style-type: none">・多職種連携の前に病院内の連携を！ 診療科同士の連携を！ 例)腎内→消化器内科に患者さんをつないで。・サービス堪能者会議に、医師、歯科医師を呼ぶ。・MCSのようなシステムがあって患者様に対して、誰がどのように関わっているか、又、意見を言えるようになりたい。カルテや検査値が知りたい。・意見交換会参加の呼びかけ・医師に意見が言えない壁を壊す。	
介護職	<ul style="list-style-type: none">・本、意見交換会への同僚への次回参加の呼びかけをする。	
行政 (その他)		<ul style="list-style-type: none">・つくば市の統一した電子カルテ 病院のカルテ・英国とか仏国のような、いつでもどこでも見られる電子カルテの仕組みづくり

	明日から	半年後
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・CMと連携強化 ・関係機関、組織内の連携(HPとか施設内でも) 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議へ参加していく。 ・多職種との連携をとる。(外部)
介護	<ul style="list-style-type: none"> ・CM自ら声かけ(課題を出す) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種との連携を強化する。
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出て知ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の時間、場所を検討
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の会議に参加 	

- ・お薬のお届け(患者宅)の時会った事がないがCMから聞くことができ安心した。残薬を発見できた
→今後TELだけでなく顔を見て連携できるとより良い。職種により直接会えない事もある。
- ・担当者会議の開き方は?(薬剤師さんより)
- ・実施に交流している情報→まめいち紹介、せせらぎカフェ、医療介護福祉事例検討会の紹介
- ・訪リハとしては担当者会議への参加(顔をあわせる)。TEL、FAXあらゆる手段で連絡とる。
意見交換会への参加 事例検討会への参加と積極的に。
- ・自分たちの病院内の連携ができていない。包括の地域が限定された事で、CM、民生委員との窓口ができて話しやすい。
情報を多職種から得られる事ですごく心強い。
- ・新しくできたばかりの支援センター。成年後見制度等各制度を勉強していかなければ・・・(SW、CM)
→得意な物を得意な所に頼めるツールを作ってみては・・・
利用者さんたちはどこで、何を相談していいのかわからないのでは・・・。
- ・地域ケア会議の時間を検討(開催時間)、場所も。
- ・サービスを利用するにはお金。世間の目で使えない・・・など問題あり。(CM)

～前回から取り組んだこと～

川村: フォーマルだけでなくインフォーマルな関わりづくり→若年性認知症の方への関わり

地域の方々と共に。専門職支援+ごみ出しをしていたら地域の方が協力を。庭木剪定の人を紹介してくれる人。
高齢者50%超えの団地。民生委員、隣人、自治会長の支え。→笑うようになる。
地域全体として面的な働きかけはどうしたらいいのか？地域包括ケアは杵として大きい。
迷子になってしまう。へたりこんでしまう。バスで乗り遅れあり。
地区相談センターへ相談あり 行政が介入することになった(きっかけ)

促進要因・・・地域のつながりのあるエリア。つくばは地域差がある。今回のことが地域をつなげるきっかけになる。

阻害要因・・・個人情報保護の観点があり、つながりにくい。どう地域にどこまでの情報を伝えていくか。

訪問歯科で相談を受けることがある。誰に伝えたらいいのか。
全員が介護保険をもっているとは限らない。
それぞれの情報を集約できるものがあるといい。
フォーマルとインフォーマルな関係